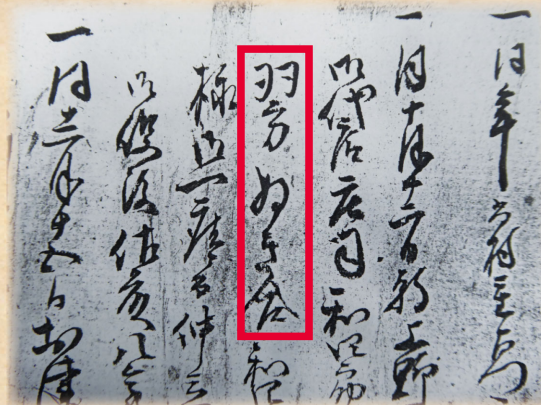


## 代官所役人が起こした奇妙な刃傷事件 にんじょう

文化6年(1809)、代官見習<sup>\*1</sup>が上司の代官を刃物で襲うという奇妙な刃傷事件が起こりました。10月11日、野沢代官・庄司和四郎、山三郷<sup>\*2</sup>代官・篠田梶助、野沢原町代官見習・長崎清兵衛の3人が上野尻村肝煎<sup>\*3</sup>・石本里右衛門宅に宿泊した時のことです。何の用事で集まり宿泊したのかはわかりませんが、翌日の早朝、代官見習の長崎が上司である代官の庄司に突然斬りかかり、庄司は右ヒジを4寸(約13cm)ほど斬られ、止めに入った山三郷代官の篠田は左の頬を斬られました。

山三郷吉田組<sup>\*4</sup>柴崎村肝煎・高橋家の『万年代記』には「双方ぬき合」とあり、また、石本家は座敷の手入れに約6両のほか、板戸20枚、ふすま4枚、屏風、縁板、39枚の畳表替えという被害でしたから大立ち回りの斬り合いがあったのです。斬った長崎は別当田方(詳細不明)へ逃げたそうです。野沢組長谷川家の「旧記」によると、長崎清兵衛は会津藩家老・山川兵衛の息子で、経験を深めるため役所に時々出勤し、民の様子を見聞きするように言われていたそうです。なぜこのような刃傷事件になったのか原因は不明ですが、2人の代官は50日の閉門<sup>\*5</sup>となって退役し、長崎清兵衛は「長之ほり」(詳細不明)へ入れられたとのこと。



『万年代記』に残る「双方ぬき合」の文字

上記事件と同年12月、白坂村族司<sup>\*6</sup>樋口幸治が同村地首<sup>\*7</sup>彦蔵と宝川村地首の忠兵衛とともに年貢納入で津川に行きました。当時、白坂村と宝川村は海道組<sup>\*8</sup>に編入されていたため津川代官所へ出向いたのでしょう。そこで忠兵衛に何の罪があったのか分かりませんが、樋口が忠兵衛を斬り殺すという事件を引き起こします。御城下から役人が10人ほどやって来てそれは大変であったそうです。

2つの事件とも真相は不明ですが、よほどの事があったのでしょう。

(参考文献：西会津町史第1巻・通史I)

<sup>\*1</sup> 代官見習…村長不在の村を直接支配する役職 <sup>\*2</sup> 山三郷…新郷、奥川と喜多方市高郷町、山都町  
<sup>\*3</sup> 肝煎…村長 <sup>\*4</sup> 吉田組…新郷大字笹川、大字豊洲、奥川  
<sup>\*5</sup> 閉門…謹慎 <sup>\*6</sup> 族司…村長並みの扱いで任命される。善良な風俗を育成し、村の振興を図る役職  
<sup>\*7</sup> 地首…肝煎の補佐役 <sup>\*8</sup> 海道組…白坂から阿賀町平堀までの村

### 今月の表紙

今月は、第38回西会津ふるさとまつりで行われたふるさと大抽選会から。町の地場産品をはじめとしたさまざまな商品が当たる大人気のイベントです。当選した大きな米袋を嬉しそうに抱える姿にこちらまで嬉しい気持ちになりました。(2ページから関連記事)

### 編集後記

今月の「わたしの、あなたのさすけねえ輪っ！」では、適正体重について紹介しました。楽しみながら健康づくりに取り組む佐藤さんを見習い、私も日々の健康づくりに意識していこうと思えました。まずは、自分の適正体重を知るところから！17ページに記載の計算式を参考に皆さんもぜひ、適正体重を調べてみてください。(伊藤)